

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:28年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	social networking service、ネットリテラシー等 ・イベント開催時におけるSNS利用の効果と注意点 ・情報管理(コンプライアンス)について、守秘義務の重要性
【前期】 3～8回目	Microsoft Excel ・Excelの基本操作 ・タイムテーブル
【前期】 9～14回目	Microsoft Excel ・簡単な計算 ・予算書 ・スケジュール管理
【前期】 15～20回目	Microsoft Word ・Wordの基本操作・文字の入力 ・応用課題
【後期】 1～4回目	Adobe Illustrator ・簡単な名刺作成
【後期】 5～8回目	Adobe Illustrator ・地図の作成
【後期】 9～12回目	Adobe Illustrator ・フライヤー製作
【後期】 13～16回目	Adobe Illustrator ・簡易的な図面
【後期】 17～20回目	Adobe Illustrator ・デザインの基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	分野別講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:20年 埼玉・東京の劇場にてホール管理業務に従事後、照明会社にて様々な現場に従事。 フリーランスに転身後、ツアースタッフとして全国の大規模コンサート・イベント会場を回る。				
授業概要					
オペレートだけに留まらず、メンテナンスからデスクワークに至るまで、照明家として必要なことを学ぶ。 舞台演出に必要な照明の効果を知りプランニング・オペレートのポイント学ぶ。					
到達目標					
就職してから分かるコンサート現場におけるチーム一丸で動く他セクションの動きを知る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	照明スタッフ以外の他セクション(舞台、PA、企画制作、ローディー)に関する基礎知識 舞台用語、ホールの機構について
【前期】 11～20回目	舞台照明で使用されるコネクターの知識 電気に関する基礎知識
【前期】 21～30回目	電気容量の計算の仕方 電気制作実習 ・電源ケーブル作成
【前期】 31～40回目	電気制作実習 ・半田付け練習 ・信号線作成 現場へ持ち出す機材準備の仕方、練習
【後期】 1～8回目	譜面割の仕方 本番のオペレートで使用される、CueSheetの作成の仕方、見方
【後期】 9～16回目	本番CueSheetの作成 照明会社、ホール管理など照明の仕事の種類について
【後期】 17～24回目	学内にはないホール設備、舞台機構に関して学ぶ・外部ホールへ乗り込む際の、 電話対応やメールの仕方
【後期】 25～32回目	演出映像鑑賞 大道具・小道具の照明作りこみ方法
【後期】 33～42回目	照明仕込み図作成 <使用ソフトMicrosoftExcel>
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	照明だけに留まらず「舞台機構、用語」の基礎知識を学びましょう
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽業界基礎講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:25年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
エンターテインメント業界を目指すためのノウハウを学ぶ。社会人としてのマナー講座・キャリアトレーニング。					
到達目標					
秘書検定取得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	エンターテインメント業界の構図 芸能業界の全体像 プロダクションの業務内容
【前期】 6～10回目	レコード会社の業務内容 著作権について
【前期】 11～15回目	音楽出版社の業務内容 放送局/出版社/Webメディア TV・ラジオの業務内容
【前期】 16～20回目	ポストプロダクション 映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロ RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオ
【後期】 1～4回目	キャリアトレーニング授業概要 必要とされる資質 心構え・条件
【後期】 5～8回目	職務知識 役割・機能・職務 一般知識 企業の基礎知識・企業の組織と活動・社会常識
【後期】 9～12回目	マナー・接遇 人間関係と話し方・聞き方の応用 マナー・接遇 電話の応対・交際
【後期】 13～16回目	技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書と秘書 ・文書管理/資料管理/日程管理 ・オフィス管理
【後期】 17～20回目	秘書検定試験対策 ビジネスマナー 必要とされる資質・企業実務/対人関係・技能
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	「音楽業界のルール」、そして「一般社会のルール」 専門知識以外知らなくては、いけない事が多いです。 良い大人になる為頑張りましょう!
使用教科書	秘書検定テキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	色彩講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:28年 カラーコーディネーターとして活躍中。 照明を「色」の観点からデザインして光の奥深さを常に探求している				
授業概要					
「カラーコーディネイト」に関する基礎知識を習得し 照明演出効果を最大限生かす「色彩」について学ぶ。					
到達目標					
「色彩検定3級」合格					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	「色」を学習する事の意義を理解する 「色」の三属性を理解して色の整理の仕方を理解する トーンのイメージ(純色・清色・中間色)を理解する
【前期】 6～10回目	「色」のイメージと象徴、言葉と色の変換、心理的効果を使ってカラーデザインを行う トーン配色のイメージと配色の仕方を理解する 色相配色のイメージと配色の仕方を理解する
【前期】 11～15回目	グラデーション配色 色と光の関係 光と色 照明プランを考える
【前期】 16～20回目	物体の色の見え方について 混色の種類、三属性について理解する 商品パッケージの分析+自分でサンプルパッケージを作る
【後期】 1～4回目	明度対比、彩度対比、色相對比、補色対比、緑辺対比、色陰現象 同化効果、面積効果、対比を使った作品作り 系統色名と慣用色名を整理する
【後期】 5～8回目	色名を使った商品カラーをプロデュース 人間の目の構造を理解し、どの様に色が見えているかを考察する 自分の部屋のカラープランニングをする
【後期】 9～12回目	パーソナルカラー(似合う色について)の使い方を知る事のメリット、色の分け方 日本の色文化 世界の色文化
【後期】 13～16回目	ファッションショー会場のセッティングを考える 世界歴史のテーマ、ロケーション室内インテリアイメージ演出に必要な道具、音楽
【後期】 17～20回目	視覚系、視認、誘目性、ユニバーサルデザイン光の色の評価方法 ESPの看板デザイン、好きなアーティストの人物画を照明でどの色に染めるかプランする
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	照明だけに留まらず「カラーコーディネイト」の基礎知識を学びましょう
使用教科書	文部科学省後援・色彩検定「公式テキスト」

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 1～4回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 5～8回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 9～12回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 13～16回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る(心理テスト) ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 17～20回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう!
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明実習 I-A	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:15年。 ホール管理、舞台照明の現場にてキャリアを積む。 後にフリーランスとなり、コンサート、ダンス、芝居、ミュージカルなど幅広く様々な現場で照明プラン・オペレーターとして活動中。				
授業概要					
照明図面の書き方、読み方、明かりのデザイン、電気に関する知識、配線や機材の扱い方、メンテナンスについて学ぶ。					
到達目標					
1年次最後の合同企画イベントにて、照明仕込み図のデザインから本番の照明オペレートまで、現場の一連の流れを行う。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	テンプレートを使用した仕込み図面の書き方 電気製作の習得 機材の名称
【前期】 11～20回目	機材の用途 機材の取り扱い方 ケーブルの巻き方
【前期】 21～30回目	色の見分け方 ポリカラーを使用して各色の配色を学ぶ。
【前期】 31～40回目	照明のデザインの方法を中心に学ぶ 図面を見ながら仕込み作業
【後期】 1～8回目	調光卓の操作 ピンスポットの操作
【後期】 9～16回目	一連の基本的な技術を習得 楽園祭ライトアップに伴い、建物のライトアップを学ぶ
【後期】 17～24回目	仮設現場に対応した、電源の取り方 仮設現場に対応した、配線の仕方
【後期】 25～32回目	楽園祭ライトアップ仕込み 楽園祭ライトアップ本番
【後期】 33～44回目	授業内でライブ実習を行ない実際の仕事の流れも実践で学ぶ 機材メンテナンスの方法について
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好 LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明実習 I-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:15年。 ホール管理、舞台照明の現場にてキャリアを積む。 後にフリーランスとなり、コンサート、ダンス、芝居、ミュージカルなど幅広く様々な現場で照明プラン・オペレーターとして活動中。				
授業概要					
基本的な照明機材の扱い方、現場での動きを方を学び、実践的なライブを想定したオペレート練習を行う。					
到達目標					
1年次最後の合同企画イベントにて、照明仕込み図のデザインから本番の照明オペレートまで、現場の一連の流れを行う。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	現場で使用する革手袋、工具など必要な道具の扱い方 脚立の登り方、高所作業をする際の安全講習
【前期】 11～20回目	「足場の組立て等作業従事者」受講 バトンを昇降をする際の安全指導、掛け声、声の出し方
【前期】 21～30回目	照明機材を仕込むにあたり、電源・容量計算の仕方 脚立、昇降バトンを使用しての照明機材の仕込み方
【前期】 31～40回目	照明の当たりの取り方(シュート)竿や脚立を使用しての作業の仕方、シュート練習 PINSPOOTの種類と使いかた
【後期】 1～8回目	調光卓の扱い方 光の当たり方による、見え方の違いや色による肌の見え方の違い
【後期】 9～16回目	ホール設備を利用し、ライブ照明のデザインを行う 課題曲を使用し、本番を想定しオペレート練習
【後期】 17～24回目	ライブハウス等のアドリブを想定し、ピンスポット、オペレート練習。 テーマを元に、仕込み図を考えライティングショーを行う
【後期】 25～32回目	LED機材を使用し、一般照明との兼ね合いを学ぶ。 LED機材を使用した本番オペレート練習
【後期】 33～44回目	LED機材と一般照明を兼ね合わせた本番オペレート実践
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好 LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布